

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第524号 令和元年11月・12月



『カトレア・トリアナエ』 森本 晋

目

	頁
1) 保健所だより	西多摩保健所 … 2
2) 専門医に学ぶ	保科光紀 … 3
3) 糖尿病医療連携検討会からの 今月のメッセージ	野本正嗣 … 5
4) 第12回多摩小児科協議会報告	清水マリ子 … 6
5) 西多摩医師会市民健康講座	学術部 … 7
6) 同好会短信 ゴルフ部だより	渡邊哲哉 … 8

次

	頁
7) 広報だより	菊池 孝 … 9
8) 連載企画	古川朋靖 … 11
9) 学術講演会予定	学術部 … 12
10) 理事会報告	広報部 … 13
11) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 16
12) 表紙のことば	森本 晋 … 20
13) お知らせ	事務局 … 20
14) あとがき	奥村 充 … 21

保健所だより

1. 西多摩圏域感染症発生動向

2019年第31週～第39週(7/29～9/29)の間に診断された感染症について、管内(青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩)の医療機関より以下の報告がありました。

(1) 全数報告疾患 届出件数

〈二類感染症〉

・結核 15件 肺結核6件、潜在性結核感染症8件、その他の結核1件。

年齢は20代1件、40代2件、60代8件、70代2件、80代1件、100代1件。推定感染地はいずれも国内。

〈三類感染症〉

・腸管出血性大腸菌感染症 6件 患者5件、無症状病原体保有者1件。

血清型・毒素型はO157 VT1VT2が4件、O157 VT2が1件、O145VT2が1件。年齢は20代3件、70代3件。

推定感染地は国内5件、韓国1件。推定感染経路は経口感染。

〈四類感染症〉

・レジオネラ症 1件 病型は肺炎、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は塵埃感染。

〈五類感染症〉

・アメーバ赤痢 1件 病型は腸管、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明。

・ウイルス性肝炎 1件 B型、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触。

・水痘(入院例) 1件 臨床診断例、年齢は20代、推定感染地は国内、

推定感染経路は飛沫・飛沫核感染又は接触感染、ワクチン接種歴無し

・破傷風 1件 臨床診断例、年齢は60代女性、推定感染地は国内、推定感染経路は不明。

・百日咳 6件 年齢は10代3件、30代1件、40代1件、60代1件。百日咳含有ワクチン接種:4回3件、不明3件。

・風しん 1件 検査診断例、年齢は40代、推定感染地は国内、感染経路は飛沫感染、ワクチン接種歴不明

(2) 定点報告疾患 届出件数

定点種別	疾患名	第31週 7/29～	第32週 8/5～	第33週 8/12～	第34週 8/19～	第35週 8/26～	第36週 9/2～	第37週 9/9～	第38週 9/16～	第39週 9/23～	第40週 9/30～
小児科	インフルエンザ(外来)			5	3	6	1	8	16	5	6
	RSウイルス感染症	1	1	1	3	6	6	5	2	8	4
	咽頭結膜熱	2		2	2	1	1		2		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	7	6	1	2	4	5	10	5	2
	感染性胃腸炎	26	15	2	13	10	26	17	12	20	18
	水痘	3		3	2					3	2
	手足口病	86	44	31	25	24	15	16	18	39	60
	伝染性紅斑		1				1	1	1		1
	突発性発しん	1	2	1	2	3	2	2	5	4	4
	ヘルパンギーナ	22	11	1	16	11	12	6	9	9	7
	流行性耳下腺炎				1	1				1	1
	不明発疹症										
	川崎病										
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎			1			1				
基幹病院	細菌性髄膜炎										
	無菌性髄膜炎										
	マイコプラズマ肺炎		1							2	
	クラミジア肺炎										
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)										
インフルエンザ入院											
	合計	147	82	53	68	64	69	60	75	96	105

2. 内で注目されている定点把握対象疾患 39週(9/23～9/29)時点

・インフルエンザの定点当たり報告数はわずかに減少しました。

・手足口病の定点当たり報告数は33週以降3未満の横ばい状態で、警報レベルが続いています。39週は島しょ保健所管内で定点当たり報告数(14.0)が突出しています。

3. 注意すべき感染症【季節性インフルエンザ】

都内のインフルエンザ定点医療機関からの第38週(9月16日から9月22日)の患者報告数が、流行開始の目安となる定点当たり1.0を超え、1.06人/定点(週)です。また、今シーズン(2019年9月2日以降)において、都内の学校や社会福祉施設等で発生したインフルエンザ様疾患の集団感染事例は、9月22日までに55件報告されています。

文責：西多摩保健所保健対策課

専門医に学ぶ 第139回

公立福生病院 精神科 保科 光紀

せん妄

【はじめに】当院は316床の総合病院であるが精神科は無床であるため精神疾患単独での入院患者はいない。このためリエゾンコンサルテーション（＝総合病院に入院中の精神科以外の患者に生じる精神医学的な問題に対応すること）が当科の主たる業務であるが中でもせん妄への対応を依頼されることは非常に多い。本稿ではせん妄の典型的な症例について提示する。

【症例】95歳 女性

【既往歴】X年7月に近隣の総合病院で直腸がんと診断されたが高齢で手術適応はないとされ以後はかかりつけ医で経過観察されていた。

【生活歴】山口県出身。同胞3名中第1子長女。死別した夫との間に挙子1名（長女）。子育てが終わった40歳頃から70歳頃までA大学医学部整形外科の医局秘書をしていた。退職後は長女宅の近くで単身生活をしていた。

【現病歴】X+1年Y月30日に腹痛を主訴に当院に救急搬送された。直腸がんの穿孔と診断され同日人工肛門を造設する手術を受けた。Y+1月2日にHCUから外科病棟に転棟したところ同日夜から点滴ルートを握ってグルグル巻きにして離さない、胃管を自己抜去するなどの身体管理に支障をきたすような行動や念仏を唱える、「山を歩かされている」などのつじつまの合わない言動が出現するようになったため翌日当科に依頼があった。

【現症】「キツネが見える」などの幻覚や意味不明な独語が聞かれ会話はほとんど成立しない状態であった。

【治療経過】飲水禁であるため経口薬は使用できずY+1月3日より夜間の点滴500ml/6hにハロペリドール（セレネース®、5mg/A）1/2Aを混注した。その日は消灯まで念仏を唱えていたが夜間は良眠。翌日往診したところ通常の会話が可能であり医師の名前を尋ねたり感謝の言葉を述べたりされた。

【解説】せん妄は軽度の意識混濁に幻覚、妄想、焦燥、興奮、睡眠覚醒リズムの障害など様々な精神症状が加わった状態である。夜間を中心に急激に出現する、症状が動揺して日内変動を認める、認知症の認知機能障害が不可逆であるのに対して症状が可逆性であることなどを特徴とする。

〈分類〉

過活動型：幻覚、妄想など活発な精神運動興奮を伴うもの

低活動型：傾眠などうとうとした状態が主であるもの

混合型

(4)

〈原因〉

1. 直接因子

薬物：オピオイド、ステロイド、抗コリン薬、超短時間型ベンゾジアゼピン系薬物

代謝性：肝腎不全、高 Ca 血症

身体疾患：脳腫瘍、脳血管疾患、脱水、低酸素、感染症

2. 誘発因子

身体拘束

感覚遮断などの環境因子

睡眠障害、精神的ストレス

疼痛

3. 準備因子

脳血管疾患の既往、認知症など

〈対応と治療〉

原因治療が可能であればそれを行う。

1. 原因治療

高 Ca 血症→ビスフォスフォネート製剤

脱水→補液

オピオイドローテーション

2. 対応

必須でない薬剤の中止

身体拘束や点滴、カテーテル類を最低限にする。

身体的に可能な範囲で日中の離床を促す

3. 抗精神病薬の投与

投与量は必要最低限にする。抗精神病薬の副作用によってせん妄がかえって悪化したり誤嚥性肺炎や痰詰まり、麻痺性イレウス、呼吸抑制など致命的な有害事象が生じることもあることに注意すべきである。

(例)

ハロペリドール：注射薬、内服ともあり。

リスペリドン、オランザピン、クエチアピン：経口内服

※オランザピン、クエチアピンは糖尿病の患者には禁忌である。

【参考資料】

公立福生病院緩和ケアチーム運営マニュアル

糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ

西多摩地域糖尿病医療連携検討会

平素より当検討会の事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。当会では2018年度より会員の皆様に、医師会報を通して糖尿病診療に役立つヒントを得て頂ければと願い「糖尿病診療を再考する症例」をテーマに【**糖尿病専門医による症例提示**】を企画いたしました。

今回は、青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科 向田幸世先生に症例提示をお願いいたしました。

皆様の日頃の糖尿病診療の一助となりましたら幸いに存じます。

【血糖コントロール悪化を契機に膵癌と診断された一例】

青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科 向田幸世

症例のポイント：急激な血糖悪化の際には悪性疾患も鑑別に挙げる

【症例】70歳女性 【主訴】なし

【現病歴】65歳から2型糖尿病・高血圧症・脂質異常症で近医に通院していた。DPP-4阻害薬およびSGLT2阻害薬でHbA1c 6-7%前半を推移していた。半年間で5kgの体重減少を認め、X年6月の血液検査でHbA1c 9.2%と悪化した。精査加療のため7月4日に当科を紹介受診し、30日に当科へ入院した。

【身体所見】身長 155.2 cm、体重 65.0 kg、BMI 26.7 kg/m²、

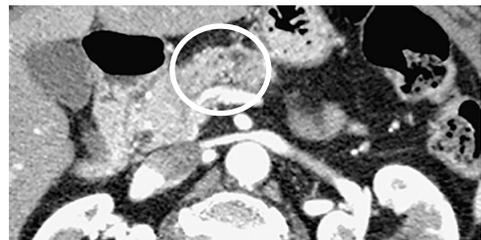
BT 36.7°C、HR 98 bpm、BP 132/78 mmHg

腹部は平坦・軟、自発痛・圧痛は認めない

【検査所見】WBC 6760/uL、Hb 15.0 g/dL、PLT 19.9万/uL、AST 23 IU/L、ALT 17 IU/L、CK 128 IU/L、AMY 65 IU/L、Cr 0.73 mg/dL、Na 139 mEq/L、K 4.3 mEq/L、CRP 0.14 mg/dL、HbA1c 9.3%、随時血糖 241 mg/dL、血中Cペプチド 6.9 ng/mL、抗GAD抗体陰性、CEA 1.6 ng/ml、CA19-9 14.0 U/ml、DUPAN-2 < 25 U/ml、SPAN-1 抗原 < 10.0 U/ml

腹部超音波：膵頭部に直径 22 mm の low echoic mass。

CT検査：膵頭部に 19 × 18 mm の乏血性腫瘍を認め、主膵管拡張を伴っている。明らかなリンパ節転移や遠隔転移はない。



CT検査：主膵管拡張を伴う膵頭部に19×18mmの乏血性腫瘍を認める。

【経過】入院中に行った腹部超音波検査で膵頭部腫瘍を認めたため、消化器内科へコンサルテーションした。CT検査所見とあわせて膵頭部癌 TINIM0 cStage IIと判断した。8月19日に外科で膵頭十二指腸切除術を行った。病理所見からも膵頭部癌として矛盾しない結果だった。

【症例のまとめ】血糖コントロール悪化を契機に膵癌が指摘された症例だった。糖尿病では癌罹患リスクが高くなり、非糖尿病患者と比較して肝癌・膵癌・大腸癌になりやすいことが知られている。糖尿病が癌のリスクになる機序としては、インスリン抵抗性に伴う高インスリン血症、高血糖による酸化ストレス、慢性炎症、アディポサイトカインの関与が推定されている。①意図しない体重減少、②貧血の進行、③説明できない血糖コントロールの悪化がある場合は悪性疾患の可能性を考慮する。

多摩小児科協議会出席報告

報告者： 福生市 清水マリ子

第12回多摩小児科協議会令和元年6月22日土曜日立川アレアアホールにて開催されましたのでご報告致します。多摩地区小児科医18名が出席しました。今回当番議長は町田市の林先生と渡辺先生が担当されました。西多摩地区からあきる野市松村先生、青梅市井上先生、福生市清水が出席しました。

当番議長が事前に議題に関するアンケートを作成し、今年5-6月協議会会員を対象に実施。アンケート結果に基づき意見交換を行いました。内容は以下です。

1. 思春期（精神）医療・発達障害の主な紹介先医療機関について。

発達障害の主な紹介先は、就学前は自治体の保健センター・発達センター。多摩市は島田療育センター、八王子市は島田療育センターはちおうじ、駒木野病院児童精神科、平川病院発達障害外来、武蔵村山市は東京小児療育病院が担っている。西多摩地区では自治体以外に、あきる野市の東京小児療育センター上代継診療所や、昭島市の西徳洲会病院小児科（就学前の療育対応）へ紹介している。都立小児総合医療センターの児童精神関連の病院予約受診は2-6ヵ月待ち。同センターでは電話相談内容によりトリアージを実施しており、緊急性が高い症例は早期に予約可能。

2. 小児科部会としての要保護児童対策地域協議会への参加状況について。

各市に小児科部会があるとは限らないが、各市医師会から小児科医の理事が代表として1名参加している自治体が多い。地域会議等の実務者会議に出席している自治体は少数。全体会議の際には、個人情報には明かされないため、実働のための情報交換の場になっていない。

3. 保育園医を自治体内で賄うことが出来ているかについて。

医師会が斡旋、概ね充足している自治体が多い。公立のみ、あるいは依頼された場合のみ医師会が斡旋する自治体が1/3程度。足りない所では市内内科医の協力を得ている。

4. 小児科部会学術講演会の有無について。

開催回数は市により様々、年1~5回行われている。医師会から講師へ講演料が支払われる。市内の病院や大学病院と共催開催が多い。

5. HPVワクチン接種年齢制限や自費の場合のコストについて行政から市へ周知されているかについて。

国で積極的接種勧奨を中止している以上何も出来ない。個別に活動していくしかないのでは、という意見でした。

この他、認定こども園の園嘱託医委託料について、成育基本法について、保育園のアプニアセンサーについて意見交換を行いました。

多摩小児科協議会の詳細内容をお知りになりたい場合や、小児科診療についてご質問等ございましたら、清水（E-mail: ssna@ssn-clinic.net）までお寄せ頂ければ幸いです。

西多摩医師会市民健康講座

学術部



10月19日土曜日にイオンモール日の出2階イオンホールで市民健康講座を開催し、今回は42名の市民の方々に参加して頂きました。第1部は「医療保険のしくみについて」をテーマに玉木一弘会長が、国民医療費の推移、医療保険と医療費、高額療養費制度等について講演を行い（東京都相互理解のための対話促進支援事業に相当）、第2部は「排尿の悩み解決法」の題目にて青梅市立総合病院泌尿器科部長の村田高史先生にお話を頂きました。

排尿の悩みとされる下部尿路症状には、「出にくい」「時間がかかる」といった排尿症状に加え、「尿が近い」「夜に何回もトイレで起きる」「尿意をこらえるのが大変」「間に合わない」といった蓄尿症状や、「残尿感」「後で漏れる」といった排尿後症状があるのですが、「排尿」の問題と感ずいても実際には「蓄尿」の問題が多分に含まれており、感覚と現実とズレがあるので注意が必要ということでした。そのため、泌尿器科では質問票（国際前立腺症状スコア IPSS、過活動膀胱症状質問票 OABSS、主要下部尿路症状質問票等）や排尿日誌を参照に、尿検査やエコー検査を合わせて診療を行っていますが、一般内科医にも診療の手引きが周知されているので（※）、症状のある場合はまずかかりつけ医に相談することを勧められました。

過活動膀胱は、加齢等による中枢神経の機能低下で末梢の膀胱が過敏症状を呈するためと言われていますが、生活習慣病による骨盤内の臓器虚血も原因となりうることで、薬物療法はあくまで対症療法であること、行動療法として蓄尿トレーニング（10分程度我慢してみる）や骨盤底筋体操（肛門をグッと力強く締める運動を根気よく行う）等があることを話されました。

前立腺肥大症は、尿道が押しつぶされる、筋肉がしなやかに動かない等により排尿障害を来しますが、手術療法（経尿道的前立腺切除術）に加えて薬物療法はあるものの、やはり対症療法であるため薬をやめると元に戻ってしまうとの話でした。

夜間頻尿については、「多尿」（糖尿病や水分の摂りすぎ等が原因）や「夜間多尿」（夜間の尿量が1日の1/3以上）（高血圧、うっ血性心不全、腎機能障害、睡眠時無呼吸症候群等が原因）、過活動膀胱や前立腺肥大症等による「膀胱容量の減少」、「睡眠障害」があり覚醒した際にトイレが習慣化されていることなどの関与を指摘されました。

排尿の悩み解決法としては、過活動膀胱に対する行動療法や多尿傾向の方に対する飲水制限はあるものの、薬物療法はあくまで対症療法で根本的な解決法ではないことから、ほどほどの目標設定（50-60点）で気長に付き合っていくことになるようです。

講演後の質問では、認知症予防に2リットル以上の水を飲んでいるという方に対し、水の飲みすぎは排尿にはマイナスであり、熱中症予防で寝る前に水を飲む場合でもコップ1杯で十分であること、ノコギリヤシや漢方薬などの市販薬を服用して若干の改善はあるかもしれないが補助的であること、腹圧性尿失禁は筋力の弱さが原因でありトレーニングが必要であること、尿が濁るのには膀胱炎（細菌尿）の他、尿が濃いだけのことや血尿等が含まれているが、尿が赤い場合は放置してはいけない等の回答をされました。排尿の悩みはデリケートであり、村田先生には会の終了後も個人的に参加者の相談を自ら受けて頂きました。ありがとうございました。

※かかりつけ医による対応については下記のガイドライン等をご参照下さい。

- ①一般内科医のための高齢者排尿障害診療マニュアル(改訂版)(国立長寿医療センター泌尿器科)
- ②男性下部尿路症状・前立腺肥大症診療ガイドライン（日本泌尿器科学会）

以上、インターネットよりダウンロード可能

③女性下部尿路症状診療ガイドライン（日本排尿機能学会）

Minds ガイドラインライブラリに掲載

④過活動膀胱診療ガイドライン[第2版]（日本排尿機能学会）

文責：土田大介



同好会短信

ゴルフ部だより

令和元年 都医対抗ゴルフ大会 初優勝

西多摩医師会 ゴルフ部 渡邊 哲哉



例年東京都医師会対抗ゴルフ大会が開かれています。春は個人戦と医師会対抗の団体戦の予選、秋には予選を勝ち抜いた団体戦決勝が行われます。今年は予選が3月28日（木）、決勝が9月26日（木）に東京ゴルフ倶楽部で行われました。本大会は1964年（昭和39年）に創立されたとのことですが、西多摩地区は以外にも創立52年目にあたる2015年（平成27年）が初参加でした。初出場からは毎年決勝には駒を進めるも、中々優勝には手が届かずにいました。しかし、今年はある意味例年とは違う気持ちで皆が大会に臨んでいた様な気がします。というのも今年の元旦に福生・田村皮フ科の田村啓彦先生が急逝されてしまいました。田村先生は西多摩医師会ゴルフ部で長年幹事をされ、本大会にも西多摩医師会の主戦力として当初から参加されていました。先生は特にこの大会を毎年楽しみにしており、そして人一倍優勝を望んでいたと思います。皆が田村先生の思いを胸に秘めての都医対抗戦だったような気がします。

春の予選は都内12地区の計80名の先生が参加され、西多摩からは酒井淳（青梅）、瀧川牧人（青梅）、江本浩（青梅）、青山彰（福生）、笹本良信（福生）、渡邊哲哉（羽村）（敬称略）の6名で臨みました。各地区上位5名のグロス合計値で、上位8地区が決勝（各地区6名まで）に進むことができます。予選は1位から順に、北多摩、大森、三鷹市、西東京市、西多摩、江戸川区、中野区、八王子市の各地区が勝ち進みました。決勝も



予選と同じ6名が出場しました。決勝は各地区上位4名のグロス合計値で争われ、西多摩は合計324ストロークで327の北多摩医師会を辛くも凌ぎ念願の初優勝を勝ち取ることが出来ました。その瞬間、田村先生も天国でほくそ笑んでいたと思います。

来年は連覇に向けて更に多くのメンバーで臨めたらと思います。そしてまた優勝報告が出来るようにゴルフを楽しみながら精進して行きたいと思います。西多摩医師会ゴルフコンペへも皆様気軽にご参加いただければ幸いです。

広報だより

最近のスマホ事情について

きくち耳鼻咽喉科クリニック 菊池 孝

1. はじめに

アップルのスティーブ ジョブズが初代 iPhone を発表したのは2007年のことでした。iPhone 3G が日本で発売開始になったのは翌2008年。iPhone が発売になった当初は、色々揶揄する声がありました。しかし、この約10年間に従来型の携帯電話（ガラケー）は駆逐され、至る所スマートフォン（スマホ）だらけになりました。音楽はダウンロードからストリーミングに変わり、CDは衰退、カメラの性能が上がりコンパクトカメラの売り上げが減少、即時性のニュースが簡単に手に入り、新聞、雑誌は衰退、マンガも紙よりも電子版の売り上げが増えています。色々な分野に影響は広がり、まさにスマホの登場は世界を変えてしまったと言って良いと思います。

毎年新型が発表され、性能が向上しています。最近ではどの機種を買っても普通に使えるようになり、毎年買い換えるようなことは減っていると思います。私はiPhoneを使用していますが、昨年iPhone 8を購入し、今年の新型は見送る予定ですが、ガジェット好きですので、新機種はウォッチを続けています。最近のスマホ事情と来年の機種についてまとめてみました。

2. iPhone について

今のスマホはアップルのiPhoneとGoogleのスマホOS（アンドロイド）を搭載した機種に大きく分かれます。MacとWindowsの様な関係と考えて下さい。日本ではiPhoneの比率が高いですが、世界的にはアンドロイド機種の方が多数を占めています。アップルは毎年9月に新型iPhoneを発表、発売しています。今年もiPhone 11、11Pro、11Pro Maxの3機種が発売になったばかりです。iPhoneには先進的なイメージがあったのですが、近年では完全にアンドロイド機種の方が先進的になっています。特にカメラはアンドロイドが先行し、iPhoneがそれを追う形になっています。昨年Googleは自らが発売するPixel3でNight Sightを搭載しました。これは普通だったらカメラに何も映らないような暗いところでも明るく被写体を写すことができます。今年アップルもiPhone11シリーズから同様なナイトモードを搭載しました。競争があるのは良いことで、お互いの良いところを取り入れている状態です。

3. アンドロイド機種

代表的なメーカーについてまとめます。

1) ファーウェイ

中国のメーカーです。比較的安価で高性能のスマホを出していました。トランプ大統領を主体とする米中貿易戦争のあおりで色々な規制をうけ、世界的に失速しています。現在では購入するメリットのないメーカーになっています。

2) Google

アンドロイド OS を作っている Google 自らがスマホを製造していて、先に述べた Pixel というシリーズを出しています。OS のアップデートが保証されており、アンドロイド機種 of スタンダードになる機種です。今年 Pixel4 が発売になる予定で、カメラの望遠機能がアップデートされるようです。

3) サムスン

韓国メーカーで、米中貿易戦争影響を受けず、世界的に一番売れているメーカーです。Galaxy というシリーズが有名で、iPhone と並ぶ高機能機種です。最新は S10、S10+ という機種です。Galaxy にはもう 1 つ Note10+ というペン入力に対応した機種があり、手書き入力が好評です。ペンが本体に収納でき、ペンを抜くと、本体が自動的に入力できるように起動します。最近のサムスンの機種は作り込みが良くなっていると感じます。

4. 形態の変化

iPhone から始まった今のスマホの機能的な進化は続いています。ただ、画面が拡大し、色々な性能が良くなっても全体的な形は代わり映えしませんでした。最近では iPhone のホームボタンもなくなり、ぱっと見は iPhone もアンドロイド機種も見分けがつかなくなりました。そこで、次のトレンドとして、折りたたみ式が復活してきました。

1) Galaxy Fold (サムスン)

今年、アメリカで先行発売されていましたが、日本でも au から 10 月 25 日に発売されます。夢だった折り曲げることが可能な有機 EL を搭載した機種です。折り曲げると半分の大きさの形態で携帯になり、伸ばすとタブレット的な 1 画面になります。ただし、構造的に液晶が破損する可能性があり、耐久性には問題があると考えられ、発売後の使用感がどうなるか注目しています。また折りたたみにどれぐらいの必要があるかは分かりませんが、それはこれからいろいろな使い道が出てくると考えています。

2) Surface Duo (マイクロソフト)

伏兵マイクロソフトが来年末に発売予定している携帯端末です。なんと OS に Windows ではなく、アンドロイドを使用しています。数年前までマイクロソフトは携帯会社のノキアを買収し、自社 OS を用いた Windows Phone を出していたのですが、話題になることもなくあえなく失敗。2017 年には携帯事業から撤退していました。今回、アンドロイド OS を搭載した携帯端末で再チャレンジしてきます。液晶は有機 EL ではなく、普通の液晶。それも中央にヒンジがあって、左右に液晶 2 画面があり、ヒンジで左右 2 画面を折りたたむための携帯です。来年の発売までに 2 画面对応のソフトを開発するために、1 年前の発表になりました。来年クリスマスシーズンに発売予定です。

マイクロソフトは同時に上記 Duo を拡大したようなタブレット画面が左右に 2 つある折りたたみ形式の Surface Neo も発表しています。Windows OS とオフィスが有名なマイクロソフトですが、以前からマウスやキーボードといったハード製品でも優れた商品を作っていました。近年ではアップルのようにタブレット PC、ノート PC やデスクトップ PC を作るようになり、Surface というシリーズで商品化されています。

最近のアップルはデザインにおいて保守的な傾向にあります。むしろマイクロソフトの方がデザインにおいては新しいデザインを提案していると考えます。上記 Duo と Neo の発表の動画が YouTube にあがっていますので、興味のあるかたはぜひ一度チェックしてみてください。ガジェット好きなら思わず欲しくなる魅力を秘めていると思います。来年の発売が楽しみです。

5. まとめ

現在では当たり前になったスマホですが、実はまだまだ進化の過程で、今後さらに様々な機能が追加され、使い勝手がさらに変化する余地があります。今後も機会がありましたらガジェット系の動向をお伝えしたいと思います。

連載企画



「読書歴について 3」

永仁醫院 古川 朋靖

これまで、村上春樹やSF小説について、この連載企画で書かせていただいております。今回は、夢枕獏について書かせていただきたいと思います。

ご存知の方も多いかと思いますが、簡単なプロフィールを新潮社のサイトから抜粋します。『1951年神奈川県生まれ。1977年「カエルの死」でデビュー。1984年に発表した『魔獣狩り 淫楽編』とそれに続くサイコダイバーシリーズで、伝奇小説の新たな地平を切り開き、ベストセラー作家となる。「キマイラ」「餓狼伝」「陰陽師」「闇狩り師」など、多くの人気シリーズを持つ。』

私は、夢枕獏の小説を完全に読破したわけではありません。まず、その作品に触れたのは、今から約二十年以上前、「陰陽師」を読み始めることに始まります。非常に有名なシリーズとなっておりますが、当時はさほどマスコミに取り上げられておりませんでした。短編がいくつも収録されています。各々が完結しており、大体は妖（あやかし）が出てきて、それを安倍晴明と笛や弓の達人である源博雅が退治する形をとります。妖は、人の心の闇を写したものであり、その闇を解明し解決するというものです。和の心、そして人情にあふれた作品で、一編を10分から15分で読めてしまうものです。心が暖かくなる癒されるものです。陰陽師シリーズは、ほぼほぼ、読破いたしました。

次に、紹介したいのは、「宿神」と「沙門空海唐の国にて鬼と宴す」です。ともに全4巻からなる長編です。「宿神」は、のちの西行である佐藤義清と平清盛を軸に話は進みます。ともに北面の武士でありましたが、政権をとりに行く平清盛と出家して歌人となる西行。西行の生涯を通じて描かれる大河伝記絵巻というものです。「沙門空海唐の国にて鬼と宴す」は、遣唐使として長安に赴く空海の冒険譚であります。この作品は、作者本人も、17年かけて書いた傑作だと言っております。確かに力強い物語です。この作品は映画にもなりましたが、映画の方は少々力不足に、私には感じられました。これだけ長い小説を2時間弱の映像に閉じ込めることは、正直難しいのかとも思いました。

この二作品に共通するのは、丹念な歴史考証があつて、その上で作者の想像力をもとに物語を形作っている点です。ノンフィクションの歴史の上に、フィクションの世界をのせている点。読んでいるうちに、これは本当の歴史なんじゃないかと思わせられました。本当にあったことなんじゃないかと思わせられる、力があるということです。読み進むうちに、平安末期の絢爛な時代、国際都市であった長安の雑踏、そんなものの中に自分が迷い込む様な気持ちもしました。読み終わってから、物悲しさや爽快感、いろいろな感情が湧いてきましたが、決して嫌なものではなく、また読みたい、他のものも読みたいと思わせる感情でした。

なかなか、多くを伝えるには、私の力不足です。是非是非、一読いただけますと、感じるものがあるのではないかと思います。秋の夜長に心躍らせて見られてはいかがでしょうか？

◇学術講演会予定

令和元.10.23

開催日	開始～終了時間	会場	単位数	カリキュラムコード	集会名称・演題	講師（役職・氏名）
11.13 (水)	19:30 ～ 21:00	青梅市立 総合病院	1.5	12 73	学術講演会 【一般演題】 「心電図を活かした心房細動診療 エッセンス」 【特別講演】 「心血管インターベンションの新た な展開」	大島医院 院長 東京医科大学八王子医療セン ター 循環器内科 兼任講師 大島一太 先生 公益財団法人 日本心臓血圧研 究振興会附属 榊原記念病院 循環器内科 主任部長 七里守 先生
11.14 (木)	19:30 ～ 21:00	フォレスト 昭和館	1	4 76	学術講演会 【講演 1】 「PROを考慮した糖尿病治療戦略」 (仮) 【講演 2】 「笑い等のポジティブな心理介入が糖 尿病治療に与える影響について」(仮)	慶應義塾大学医学部 腎臓内分泌代謝内科 特任講師 田中正巳 先生 福島県立医科大学 疫学講座 主任教授 大平 哲也 先生
11.18 (月)	19:15 ～ 20:30	あきる野 ルピア	1	77	あきる野市医師会学術講演会 「骨粗鬆症診療に関する最新の話題」	公立福生病院 副院長 整形外科 部長 吉田 英彰 先生
11.19 (火)	19:20 ～ 20:30	公立 福生病院	1	82	学術講演会 Diabetes & Incretin Seminar in 西多摩 【特別講演】 「2型糖尿病の薬物療法における体重 管理」	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 分子内分泌代謝学分野 教授 山田 哲也 先生
11.20 (水)	19:00 ～ 21:00	青梅市立 総合病院	1.5	8 46	第 28 回西多摩呼吸器懇話会 【症例検討 I】 「胸部 X 線写真読影・解説」 【症例検討 II】 「ご紹介いただいた症例のその後」 【特別講演】 「インフルエンザ診療に関する話題」(仮)	青梅市立総合病院呼吸器内科 部長 磯貝 進 先生 東青梅診療所 院長 武信 康弘 先生 青梅市立総合病院 呼吸器内科 副部長 大場 岳彦 先生 杏林大学医学部附属病院 感染症科 准教授 倉井 大輔 先生
12.5 (木)	19:20 ～ 21:00	公立 福生病院	1.5	31 39	学術講演会 【特別講演】 「来年の花粉シーズンに向けた対策 ～最新の耳鼻咽喉科関連トピックス」	東京医科大学八王子医療セン ター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授 小川 恭生 先生
12.9 (月)	19:00 ～ 20:10	青梅市立 総合病院			学術講演会 「鋭敏なリスクマーカーとしてでの Small dense LDL コレステロール ～大規模臨床試験の知見を踏まえて～」	海老名総合病院 糖尿病センター センター長 平野 勉 先生
12.11 (水)	18:50 ～ 21:00	公立 福生病院	2	20 69	学術講演会 ～こころのバリアフリー活動学術講演会～ 【講演 1】 「安易な睡眠薬投与がもたらすもの ～適正使用を目指して～」 【講演 2】 「認知症と睡眠のリンク」	埼玉医科大学病院 救急科 教授 上條 吉人 先生 東京医科歯科大学 脳統合機能 研究センター 認知症研究部門 特任教授 メリ-クリニックお茶の水 理事長 朝田 隆 先生
12.12 (木)	19:20 ～ 21:00	西多摩 医師会館	1.5	12 82	学術講演会 【講演 I】 「糖尿病合併症 C K D 診療のポイント 西多摩版 2019 について」 【特別講演】 「糖尿病治療 Up to Date ～日野方式・微量アルブミン尿健診を ふまえて～」	野本医院 院長 野本 正嗣 先生 佐野厚生総合病院 院長 透析センター長 村上 円人 先生

理事会報告

★ Information

9月定例理事会

令和1年9月10日(火)

西多摩医師会館

(出席者: 玉木・石田・江本・樫田・栗原・佐藤・進藤(晃)・進藤(幸)・田中・土田・古川・宮城・横田・中野)

【1】報告事項

(1) 各部報告

総務部: * 有期契約職員(赤坂郁恵)を正規採用の方向で手続等を進めている件について

公衆衛生部: * 7/27に開催した産業医研修会の状況等について

学術部: * 8/30学術部会を開催、市民講座・臨床報告会・パネルディスカッション等
今後の予定について

(2) 地区会報告(各地区理事):

青梅市

福生市 8/27に納涼会、9/3に定例理事会を開催

羽村市

あきる野市

瑞穂町

日の出町

(3) その他報告:

特になし

【2】報告承認事項

(1) 入退会会員、会員異動について

— 承認 —

正会員3名(管理者交代による)、準会員1名の入会申請が紹介され可決承認された。また、正会員3名・準会員2名の退会及び3件の異動届が紹介報告された

(2) 「令和元年度高齢者インフルエンザ予防接種事業について(要望)」への対応状況及び、「インフルエンザ個別予防接種業務委託契約書」の締結について

標記の要望事項に係る行政との交渉結果等が報告され、結果に基づく令和元年度の契約書(案)が示され、契約の締結について承認された

— 可決承認 —

【3】協議事項

(1) 東京都医師会「産業保健委員会委員」の推薦について(依頼)

資料により標記依頼事項が説明・紹介され推薦者について協議。本人の承諾もあり、石田信彦先生を推薦することが提案され可決承認された

— 可決承認 —

(2) 令和元年度西多摩地区救急業務連絡協議会助成費納入について(依頼)

資料により標記依頼事項について説明・紹介され、助成費の納入について承認が求められ可決承認された

— 可決承認 —

【4】その他

特になし

9月定例理事会

令和1年9月24日(火)

西多摩医師会館

(出席者: 玉木・江本・樫田・栗原・進藤(幸)・田中・土田・古川・宮城・横田・中野)

【1】報告事項**(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

資料により、9/20に開催された標記協議会の伝達事項等について説明報告された

(2) 各部報告

特になし

(3) 地区会報告(各地区理事):

青梅市 9/12 総務会開催

福生市

羽村市 9/27 理事会、9/28 懇親会開催予定

あきる野市 9/27 日理事会、9/28 日例会開催予定

瑞穂町

日の出町

(4) その他報告:

○令和元年度東京都胃内視鏡検診講習会について(通知)

都医からの標記通知(資料)内容について紹介・報告

【2】報告承認事項**(1) 入退会会員、会員異動について**

— 承認 —

資料により、正会員1名・準会員2名の入会申請が紹介・報告され承認された

【3】協議事項**(1) 「緊急時の敷地内通行等に関する覚書」の締結について**

資料により、標記に係る西多摩保健所との覚書(案)が説明・紹介され、締結の可否について協議、問題点等特になく、締結することが可決承認された

— 可決承認 —

【4】その他**〈要望・提案〉外国人の特定健診について**

特定健診における外国人の健診結果について、国により異なる基準があるなど、判断に迷うなどの現実がある。外国人の特定健診に係る指針等の検討・策定を都医等に働きかけていただきたいとの意見・要望が提案された。

10月定例理事会

令和1年10月8日(火)

西多摩医師会館

(出席者: 玉木・石田・江本・榎田・栗原・佐藤・進藤(晃)・進藤(幸)・田中・土田・古川・宮城・横田・中野)

【1】報告事項**(1) 各部報告**

地域医療部: * 10/1 に開催した「在宅医療講座」の状況等について

総務部(社会保険担当): * 10/1 に開催した「国保主務担当者との懇談会」の状況等について

地域医療部(災害対策担当): * 10/3 に開催された「西多摩医療圏災害図上訓練」の内容等について

(2) 地区会報告(各地区理事):

青梅市

福生市 10/1 理事会開催

10/4 災害医療連携会議(福生ブロック)に参加

10/15 定例会を開催予定

10/20 福生市総合防災訓練に参加予定

10/27 福生市健康まつりに参加予定

羽村市 9/27 理事会開催

9/28 懇親会開催

あきる野市 9/27 理事会開催

9/30 例会開催

瑞穂町

日の出町

(3) その他報告:

○都医第1回地域包括ケア委員会(9/26 進藤晃委員)

○都医第1回病院委員会(9/27 進藤晃委員)

委員より上記委員会の内容等概略について資料に沿って報告

【2】報告承認事項**(1) 入退会会員、会員異動について**

該当なし

【3】協議事項**(1) 西多摩医師会共催名義の使用について(申請)**

資料により標記申請内容等について紹介され協議、名義使用について可決承認された

— 可決承認 —

(2) 「糖尿病性腎症重症化予防への取組にかかる要望書」について

資料により標記に係る行政からの要望内容について紹介・説明され協議、「生活指導内容

確認書の作成」及び「生活指導内容の確認書作成時の謝礼」に係る要望を認めることが可決承認された
— 可決承認 —

(3) 「西多摩医師会地域介護予防・保健指導・データヘルス推進協力事業」について

資料により標記事業の流れ等について紹介・説明、福生地区での実践案につき、自治体への協力事業として実施していくことにつき承認が求められ可決承認された

— 可決承認 —

【4】その他

特になし

会員通知

- 会報9-10月号
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 学術講演会（9/18・9/25・10/7・10/15）
- 令和元年度青梅市医師会勉強会（9/26）
- 産業医研修会（10/31 東京都医師会）
- “ ” （12/7 江戸川区医師会）
- 第81回青梅糖尿病内分泌研究会
- 青梅CKD勉強会（11/7）
- 西多摩三師会地域医療講演会（10/16）
- あきる野市医師会学術講演会（11/18）
- 糖尿病“目からうろこの糖尿病セミナー”
- 管内市町村国保主務担当者との懇談会（10/1）
- 令和元年度第1回西多摩医師会在宅医療講座受講者募集
- 季節性インフルエンザワクチンの供給について
- 市民健康講座（10/19）
- 市民公開講座“糖尿病から透析にならない為に！”（10/10）
- 西多摩歯科医師会公開講演会（10/25）
- 4種混合ワクチン（DPT-IPV）（製品名：テトラビック皮下注シリンジ）の自主回収への対応について
- 令和元年死体検案研修会（10/20）
- 8月以降における熱中症予防対策の徹底について
- 発達障害について医療従事者向け講習会（10/6・12/8）
- 西多摩医師会写真・絵画展ご案内
- 結核予防週間ポスター
- やっぱり看護が好き
- 管内警察署 詐欺ポスター
- 保険証が更新されず（国民健康保険）
- 2019年10月診療報酬点数改定情報
- 児童虐待対応研修（10/24・11/8）
- 日本医師会かかりつけ医応用研修（10/27）
- 認知症サポート医養成研修（第6回令和2年1/25・26分）
- 令和元年度第1回HIV/AIDS症例懇話会（10/24）
- 外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関の公募について
- 防犯のつどい（10/5）
- ワクチン納入状況報告システム（プロトタイプ）の運用開始について
- 令和元年度の医師会関連委託事業の委託単価等について
- 日本医師会生涯教育講座
- 酸素の価格等について
- 看護師等免許保持者の届出制度の再周知について
- 「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第15次報告）」
- 令和元年度東京都立学校産業医研修会（第2回）（11/16）
- 「オンライン診療の適切な実施に関する指針」の改訂について並びに「オンライン

- 診療の適切な実施に関する指針に関するQ & Aについて」の改訂について」
- 東京都難病診療連携拠点病院
 - 「駐車禁止等除外標章（緊急往診車両）」の申請について
 - 健康食品に関する安全性情報共有事業について（協力依頼）
 - 第18回東京都医師会都民公開講座（12/8）
 - 訪問看護フェスティバル（2/11）
 - 東京都立神経病院2019診療案内
 - 消費税率引き上げに伴う診療報酬改定/介護報酬改定（令和元年10月）に係る概要並びに周知用ポスター
 - 管内警察署 詐欺ポスター
 - 地域連携がん診療セミナー（10/28 青梅市立総合病院）
 - 「キッズホスピタルランド2019」（11/24）
 - 市民公開講座（11/16）“糖尿病の事を知

- りましょう”
- 公費負担医療の手引き
 - 第15回多摩呼吸器ケア研究会（10/19）
 - 東京都立小児総合医療センター医療連携だより
 - 青梅市立総合病院だより
 - インフルエンザ情報（第1号・第2号）
 - 即位礼正殿の儀の行われる日における診療報酬の取扱い等について
 - 転院搬送依頼書の内容の一部改正について
 - 西多摩医師会ゴルフ部コンペ
 - 西多摩地域脳卒中医療連携症例検討会ご案内（11/18）
 - 第1回医療従事者向け講習会（H I V早期発見11/8）
 - 平成31年度児童虐待対応研修（専門講座第4回 12/2）

医師会の動き

令和元年10月23日現在

医療機関数	193	病院	30
		医院・診療所	163
会員数	535	正会員	206
		準会員	329

会議

- 9月3日 第2回西多摩地域脳卒中医療連携検討会
- 10日 第9回ICTシステム整備委員会兼 にしたまICT医療ネットワーク協議会
- 10日 定例理事会
- 12日 第2回西多摩地域糖尿病医療連携検討会
- 13日 在宅難病訪問診療（青梅）
- 24日 定例理事会
- 10月1日 市町村国保主務担当者との懇談会
- 3日 在宅難病調整会議
- 8日 定例理事会
- 18日 在宅難病訪問診療（あきる野）
- 23日 広報部会（会報編集）
- 29日 定例理事会

講演会・その他

- 9月7日 糖尿病患者さんと糖尿病予備群の方のための「糖尿病1日教室」
【誰にでもわかる糖尿病の話】
高村内科クリニック
（糖尿病専門医）高村 宏 先生
【食事療法の基本】～血糖値を上げないコツと合併症予防～
管理栄養士 網谷 陽子 先生
【運動療法・・・楽しく安全で高齢者も】
トレーナー（高村内科クリニック）
小池 日登美 先生
- 9日 保険整備会
- 9日 介護福祉関連職種を対象とした糖尿病セミナー
ー今更聞けない悩みも解決！ー
「糖尿病とは」
東京医科大学名誉教授・高村内科クリニック 植木 彬夫 先生
「SMBGとインスリンを体験してみよう！」
〈実技〉ファシリテーター

- 西東京糖尿病療養指導士の方々
〈症例提示〉ハハナ訪問看護リハ
ビリステーション所長 訪問看護
師 渡辺 美奈 先生
〈グループワーク〉
- 18日 第17回西多摩高血圧カンファレ
ンス
【オープニングリマークス】
演題：「死体検案からみた血圧管
理の重要性」
演者：野本医院 院長 野本 正嗣
先生
【特別講演】
演題：「高血圧治療ガイドライン
2019に基づいた日常診療指針」
演者：東京女子医科大学 内分泌
内科学 教授・講座主任 市原 淳弘
先生
- 19日 法律相談
- 26日 糖尿病教室
講義1：「糖尿病とは その2」（医
師）
講義2：「バランスよい献立につ
いて考えましょう」（栄養士）
- 10月1日 第1回在宅医療講座
在宅を基盤とした循環型療養のバ
リアフリー事業
グループワーク：ACP（人生会
議）について考える
- 2日 学術講演会
【特別講演】
演題：「冠動脈疾患を合併した心
房細動患者における抗血栓療法」
演者：東京女子医科大学 循環器
内科 教授・講座主任 萩原 誠久
先生
【DISCUSSION】
演題：「日常診療で迷う患者の抗
血栓療法」
ファシリテーター：
青梅市立総合病院 循環器内科
部長 小野 裕一 先生
パネラー：
青梅市立総合病院 循環器内科
- 7日 副部長 栗原 顕 先生
梅郷診療所 院長 江本 浩 先生
コメンテーター：
東京女子医科大学 循環器内科
教授・講座主任 萩原 誠久 先生
阿伎留医療介護アカデミー
演題：「作らない AMR 対策」
これですつきり！
講師：国立研究開発法人 国立国
際医療研究センター病院
AMR臨床リファレンスセンター
臨床疫学室長 松永 典明 先生
- 8日 保険整備会
- 9日 第35回西多摩心臓病研究会
【症例提示】2～3例を予定して
います
【特別講演】
演題：「3D内視鏡・ロボットを
用いた低侵襲心臓手術」
演者：榊原記念病院
心臓血管外科 主任部長
帝京大学病院 心臓血管外科
主任教授 下川 智樹 先生
- 10日 市民向け「糖尿病性腎症化予防の
為の講演会」
糖尿病から透析にならない為に！
～糖尿病と腎臓病の関係～
「腎臓病専門医と糖尿病専門医に
よる講演」
青梅市立総合病院 腎臓内科部長
木本 成昭 先生
青梅市立総合病院 内分泌糖尿病
内科副部長 足立 淳一郎 先生
- 15日 学術講演会
【特別講演】
演題：「気管支喘息の治療：軽症
から重症まで病診連携による患者
管理、全身性ステロイドを使用し
ないという選択」
演者：市立岸和田市民病院
呼吸器センター センター長
京都大学 呼吸器内科 臨床教授
加藤 元一 先生
- 17日 法律相談

- 19日 市民健康講座
【第1部】東京都相互理解のための対話促進支援事業
「医療保険のしくみについて」
西多摩医師会長 玉木 一弘 先生
【第2部】「排尿の悩み解決法」
青梅市立総合病院 泌尿器科 部長
村田 高史 先生
- 24日 糖尿病教室
講義1:「糖尿病と歯や歯周病について」(歯科医師)
講義2:「外食や市販の総菜について考えましょう」(栄養士)

役員出張

- 9月4日 多摩医学会役員会
18日 生活保護法指定医療機関指導立会
20日 地区医師会長連絡協議会
20日 多摩ブロック医師会長協議会
～会長・副会長連絡協議会～
- 10月3日 西多摩保健医療圏地域災害図上訓練事前説明会
4日 西多摩保健医療圏地域災害医療連携会議(福生ブロック)
10日 西多摩保健医療圏地域災害医療連携会議(青梅ブロック)
16日 西多摩三師会地域医療講演会
18日 地区医師会長連絡協議会
25日 東京都地域医療構想調整会議事前勉強会
30日 東京都地域医療構想調整会議

【入会会員】(正会員)

氏名 外山 千也
勤務先 古里診療所(新規開業)
出身校大学 自治医科大学 昭和54年3月卒

氏名 日下部 史郎
勤務先 (医社) 珠泉会
いなメディカルクリニック
出身校大学 埼玉医科大学 平成5年7月卒

氏名 赤岩 重雄
勤務先 (医社) 長生会 長生病院
(小曾木診療所より異動)
出身校大学 東京医科歯科大学
昭和45年3月卒

氏名 小島原 将直
勤務先 (医社) 長生会 小曾木診療所
出身校大学 聖マリアンナ医科大学
昭和56年3月卒

【退会会員】(正会員)

氏名 内藤 茂憲
勤務先 (医社) 珠泉会
いなメディカルクリニック

氏名 内沼 栄樹
勤務先 (医社) 長生会 長生病院

【入会会員】(準会員)

氏名 竹迫 弥生
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 筑波大学 平成7年卒

氏名 佐々木 真一
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 山形大学 平成20年3月卒

氏名 吉村 理
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 杏林大学 昭和56年3月卒

【退会会員】(準会員)

氏名 三木 大二郎
勤務先 (医社) 柿木会 馬詰眼科

氏名 野村 まなみ
勤務先 公立阿伎留医療センター

【管理者変更】

(医社) 珠泉会 いなメディカルクリニック
(新) 日下部 史郎
(旧) 内藤 茂憲

(医社) 長生会 長生病院
 (新) 赤岩 重雄
 (旧) 内沼 栄樹

表紙のこぼ



『カトレア・トリアナエ』
 ブラジルに自生する、カト
 レアの原種です。久し振りに
 大輪の花を付けて、楽しませ
 てくれました。

大河原森本医院 森本 晋

お知らせ

事務局より お知らせ

保険請求書類提出

令和元年12月（11月診療分） **12月9日（月）** 正午迄
 令和2年1月（12月診療分） **1月8日（水）** 正午迄
 （締切日以前の提出も可能です）

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を
 毎月**第3木曜日**午後2時より実施いたします。
 お気軽にご相談ください。

◎相談日 **11月21日（木）**
12月19日（木）
1月16日（木）

◎場 所 西多摩医師会館
 ◎内 容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
 刑事に関するどのようなものでも結構です。
 ◎相談料 無料（但し相談を超える場合は別途）
 ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
 （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

医師会館休館のお知らせ

年末・年始 事務局は下記の通り休館いたします。

記

12月28日（土）～ 1月5日（日）まで

（通常業務は27日（金）正午までとさせていただきます。なお1月6日（月）より平常通りとなります。）

あ と が き



今年も紅葉のシーズンがやってきました。今年は9月の残暑の影響で関東平野部の紅葉は、例年よりも見頃は少し遅れるという予想です。

東京の西部には、紅葉の名所が多数あります。その中でも、人気の高いエリアをとりあげてみます。

- ・昭和記念公園 イチョウ並木と日本庭園のカエデの見頃は、11月上旬～11月下旬
- ・昭和の森 紅葉の見頃は、11月上旬～11月下旬

- ・御岳溪谷 多摩川兩岸のモミジとイチョウの見頃は、10月下旬～11月下旬
- ・御岳山 紅葉の見頃は、10月中旬～11月中旬
- ・奥多摩湖 紅葉の見頃は、10月中旬～11月中旬
- ・高尾山 紅葉の見頃は、11月中旬～11月下旬

先日の台風19号の影響で、山や川では崩落や倒木のため、通行禁止の場所があります。お出かけの際は注意が必要です。

羽村市 小作駅前クリニック 奥村 充

一般社団法人 西多摩医師会

令和元年11月1日発行

会長 玉木一弘 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会 古川 朋靖

栗原 教光 土田 大介 鹿児島武志 奥村 充 神尾 重則 近藤 之暢
菊池 孝 進藤 幸雄 前田 暢彦 松崎 潤 松本 学

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993



お客様の幸せづくり
たましん

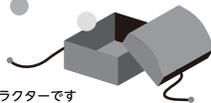
多摩の
未来を創る
たまたまばこ



RISURU

©2003, 2018 SANRIO CO.,LTD.
APPROVAL NO. G583590

リスルはたましんのオリジナルキャラクターです



Makes your happy life.

たましんは、
お客様の幸せとともに
歩み続けます。



多摩信用金庫 <http://www.tamashin.jp>

生命の輝きをみつめ

“いつの時代も、地域医療とともに”

ひとりひとりの健康で豊かな社会生活を掲げ
地域に根ざした検査所として歩んできました。
高度な技術と最新の設備で地域医療の
さまざまなニーズに対応しています。



登録衛生検査所



株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8

TEL; 04-2964-2621 FAX; 04-2964-2621

URL; <http://www.e-musashi.co.jp>

健康の通信簿



健康ってどうやって調べるんだろう？

宿題やテストではわからないよね。

体の通信簿ってあるのかな？

成績悪いとおこられちゃう？

パパやママの成績がいいとうれしいな。



臨床検査事業

臨床検査/遺伝子検査/予防医学/治療検査



医療情報システム事業

電子カルテシステム販売・保守



関連事業

食品衛生検査/環境検査/歯科検査



臨床検査は健康な未来への道しるべ
バイオシステムで医療に貢献します

株式会社ビー・エム・エル
<http://www.bml.co.jp/>

本社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3 TEL.03-3350-0111 (代表) FAX.03-3350-1180
BML総合研究所 〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1 TEL.049-232-3131 (代表) FAX.049-232-3132